

PWR-Q200

取扱説明書

このたびは、PWR-Q200をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



無線モバイルルータ

※本商品を「PWR-Q200-OP」とセットで使用する場合は、最初に「PWR-Q200-OP」の設定を行ってください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	商品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。
 メモ	商品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。
 参照	関連のある項目やページや情報を記しています。

■ お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

■ 警告・注意を促す記号



注 意



発火注意



感電注意

■ 行為を禁止する記号



禁 止



火気禁止



風呂等での
使用 禁 止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

■ 行為を指示する記号



電源プラグ
を抜く

■ 指示を守る記号



ご使用にあたって

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS パージョンによって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品を日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本商品を運用した結果の他への影響については、上記に関わらず責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本商品は一般的な家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関わる設備や機器、および海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本商品を使用され、本商品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じて、当社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。
- 本商品を紛失・毀損した場合および解約後に返却いただけない場合は、補償金を申し受けますのであらかじめご了承ください。
- 本商品の譲渡や転売（オークションへの出品を含む）等の行為は禁止します。
- 電池パックに関して、1 個目はレンタルにて提供いたしますが、電池パックの劣化については保証の対象外です。2 個目以降の電池パックは、別途販売の電池パックを購入いただく必要がございます。

【返却される場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

また、ご利用の SIM カードや microSD カードは、確実に抜いていただけますようお願いいたします。

厳守事項

● ユーザ ID とパスワードの取り扱いについて

ユーザ ID とパスワードはお客様の大切な個人情報です。入力には必ずお客様自身で行ってください。

● 取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことを推奨します。

当社ホームページ

NTT 東日本	http://web116.jp/ced/
---------	---

本商品は、「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制対象品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

警告

設置場所

●風呂、シャワー室への設置禁止

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



●水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



- #### ●本商品、電池パック、標準クレードル、電源アダプタ（電源プラグ）のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品、電池パック、標準クレードル、電源アダプタ（電源プラグ）に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- #### ●自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くに置かないでください。



本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。

！ 警 告

こんなときは

● 発煙したり変なにおいがした場合

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電池パック、標準クレードルおよび電源アダプタ（電源プラグ）を本商品から抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



● 水が装置内部に入った場合

万一、本商品やケーブル、モジュージャックの内部に水などが入った場合は、すぐに電池パック、標準クレードルおよび電源アダプタ（電源プラグ）を本商品から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



● 異常音がしたり、本商品が熱くなっている場合

本商品から異常音がしたり、本商品が手で触れられないほど熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電・やけどの原因となることがあります。すぐに電池パック、標準クレードルおよび電源アダプタ（電源プラグ）を本商品から抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 異物が装置内部に入った場合

本商品のコネクターなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電池パック、標準クレードルおよび電源アダプタ（電源プラグ）を本商品から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



● 破損した場合

万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電池パック、標準クレードルおよび電源アダプタ（電源プラグ）を本商品から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



警告

●電源アダプタの設置の注意

電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。

電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。



●USB ケーブルが傷んだ場合

USB ケーブルが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品、標準クレードルおよび電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



●電源アダプタ、および USB ケーブルの取り扱い注意

付属の電源アダプタ、および USB ケーブル以外を使用したり、付属の電源アダプタ、および USB ケーブルを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

また、電源アダプタ、および USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。重い物を載せたり、加熱したりしないでください。電源アダプタ、および USB ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止事項

●延長コード利用の禁止

電源アダプタ（電源プラグ）には、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。



●たこ足配線の禁止

本商品の電源アダプタの接続は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



⚠ 警 告

● 商用電源以外の使用禁止

AC100 ± 10V (50/60Hz) の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差し口が 2 つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



● 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接かわる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。



● 分解改造の禁止

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



● めらすことの禁止

本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュージャックに水が入ったりしないよう、また、めらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。
また、USB ケーブルや LAN ケーブルのモジュージャックがめれた場合は、乾いても、その USB ケーブルや LAN ケーブルを使わないでください。



● めれた手での操作禁止

めれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



● 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器などの中に入れてください。

火災・やけど・けが・感電・故障の原因となります。



● コンセント（電源アダプタ、または外部接続機器）につながれた状態でコネクタをショートさせないでください。また、コネクタに導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を触れさせたり、内部に入れたりしないでください。

火災・やけど・けが・感電・故障の原因となります。



警告

- **強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。**
火災・やけど・けが・感電・故障の原因となります。
- **使用中や充電中に、布や布団などで覆ったり、包んだりしないでください。**
火災・やけどの原因になります。
- **本商品の小さな部品（電池パックなど）を乳幼児の手の届くところに置かないでください。**
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- **ペットが電池パックに噛み付かないようご注意ください。**
- **故障や異常のまま、つながないでください。**
本商品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器を取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- **じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わないでください。**
火災の原因になります。
- **本商品の内部や周囲でエアダスターやスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となる場合があります。**

その他

- **航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。**
- **本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。**
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

⚠ 注 意

設置場所

● 火気のそばへの設置禁止

本商品やケーブル類、標準クレードル、電源アダプタを熱器具に近づけないでください。ケースやケーブルの被覆などが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管、放置しないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、本商品の一部が熱くなり、やけどの原因となったり、内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



● 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● 本商品を風通しの悪いところに置かないでください。

次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける
- ・ 布や布団などをかぶせる



● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となることがあります。



● ポケットの中に入れて使用したり、皮膚に触れた状態で使用すると、低温やけどの原因となることがあります。

充電中や動作中の本商品、電池パック、標準クレードル、電源アダプタに触れると、熱く感じる場合があります。
長時間にわたり一定箇所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

このような状況が発生した場合、風通しの良い場所に置いて十分に放熱させ、使用してください。



⚠ 注 意

- 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。



禁止事項

- 乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



電源

- 電源プラグの取り扱い注意

電源アダプタ(電源プラグ)は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。USB ケーブルを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタ(電源プラグ)の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。



- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。電源が入らなくなった場合は「5-6 その他で困ったときは」(5-9 ページ)を参照してください。



- 電源アダプタ(電源プラグ)の清掃

電源アダプタ(電源プラグ)と電源コンセントの間のほこりは、定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

清掃の際は、必ず電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。



- 長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから抜いてください。



⚠ 注 意

その他のご注意

- **本商品を取り扱うときは、次のことを守ってください。**
 - ・ 端子に針金などの金属を接続させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
 - ・ 火の中に投下しないでください。
 - ・ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
- **移動させるときの注意**

移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- **雷のときの注意**

落雷の恐れのあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。
落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。
雷が鳴りだしたら、USB ケーブルに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- **火災・地震などが発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。装置故障の恐れがあります。**
- **使用環境について**

温度は 0 ～ 35℃、湿度は 10 ～ 80% の範囲でご利用ください。結露がないようにご注意ください。
- **使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば異常ではありません。**
- **本書にしたがって接続してください。**

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。





お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・ ほこりや振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・ 特定無線局や移動通信体のある屋内
 - ・ 盗難防止装置など 2.4GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内
 - ・ 高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいつきは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 本商品と無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m 以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
 - ・ 設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。



お願い

禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクターの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源を OFF にし (2-9 ページ) 電源アダプタ (電源プラグ) を電源コンセントから抜いて行ってください。また、電池パックも取り外してください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコンにファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。
- サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所（屋内、車中、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など）では通信できなかったり、通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分ご注意ください。
- 本商品を返却される場合は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
また、ご利用の SIM カードや microSD カードは、確実に抜いてください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

有線 LAN に関する注意事項

- 最大 100Mbps（規格値）および最大 10Mbps（規格値）は 100BASE-TX および 10BASE-T の有線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ伝送速度（実効値）を示すものではありません。

無線 LAN に関する注意事項

- 最大 150Mbps (規格値) や最大 54Mbps (規格値)、最大 11Mbps (規格値) は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ伝送速度 (実効値) を示すものではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件 (通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など) により大きく変動します。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- IEEE802.11n 通信を行うためには、無線 LAN 端末の暗号化を「WPA-PSK (AES)」または「WPA2-PSK (AES)」(推奨) に設定する必要があります。

ファームウェアのアップデートに関する注意事項

- 本商品は、常に最新のファームウェアをご利用いただけるよう、ファームウェアのアップデート設定が「自動更新」に設定されています。
自動更新の場合、最新のファームウェアが公開されると、ファームウェアのアップデートを自動で行います。
ファームウェアをアップデートするには、インターネットとの接続が必要です。
付属の電源アダプタや標準クレードルなどから本商品に電源が供給された状態、もしくは電池残量が 50% 以上の状態でファームアップが開始されます。ファームウェアのアップデートが終了するまで本商品の電源を切らないようにしてください。
バージョンアップを行うと、本商品が再起動し、通信は切断されます。
詳細は、リファレンスガイドの [Web 設定画面] の「管理設定」ー [アップデート] を参照してください。

電池パックについて

※電池パックはリチウムイオン電池です。

● リチウム系電池輸送規制について

本商品は、リチウムイオン電池を使用しています。本商品を輸送する場合は、輸送会社に「リチウムイオン電池を含んだ内容物」であることを伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きをおこなってください。法令に基づく表示などをおこなわないで、空輸、海上輸送をおこないますと、航空法、並びに船舶安全法に抵触し、罰せられることがあります。



⚠ 警告

- 電池パックのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。電池パックに水や液体がこぼれた場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 電池パックを次のような環境に置かないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近く、炎天下の車内などの温度の上がる場所
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所



- 分解・改造をしないでください。

電池パックの液体が飛び出し、目に入って失明の恐れや発熱・破裂・発火の原因となります。



- 電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。



- 電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあとに、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。



⚠ 警 告

- **電池パックは乳幼児の手の届くところに置かないでください。**
電池パックを誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。
特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところで保管・使用するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。
- **水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。**
万一、ぬれた場合は、直ちに使用を中止し、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- **電池パックを取り扱うときは、次のことを守ってください。**
火災・やけど・けが・感電・発熱・発火・破裂の恐れがあります。
 - ・強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - ・落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
 - ・ベットの電池パックに噛み付かないようご注意ください。
 - ・電極の(+)と(-)を間違えて挿入しないでください。
 - ・消耗しきった電池パックを入れたままにしないでください。
 - ・電子レンジや圧力容器に入れないでください。
 - ・火の中に入れたり、電池パックが60℃以上になる状態にしないでください。
 - ・他の機器に使用しないでください。
 - ・端子に直接ハンダ付けしないでください。
 - ・電極の(+)と(-)を針金などの金属で接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
 - ・火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の室内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
 - ・釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
 - ・電池パックを取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は無理に取り付けしないでください。
- **長時間ご使用にならない場合は、電池パックを本体から取り外してください。取り外した電池パックの保管および持ち運びの際には、次のことを守ってください。**
 - ・端子をショートさせない(端子にテープ止めなどのカバーをしてください)。
 - ・電池パックを60℃以上にしない。



⚠ 警 告

- **電池パックの充電温度範囲は 0℃～35℃です。**
この温度範囲以外で充電すると、液漏れや発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。電池パックの温度が高くなったり、低くなったときは、充電を停止する場合があります。
- **使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、いまままで異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。**
 - ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・電源を切ってください。
 - ・電池パックを取り外してください。火災・やけど・けが・感電の原因となります。
- **ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で電池パックを取り付けたりしないでください。感電の原因となります。
- **引火性ガスの近くでの充電禁止**
ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、充電をしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
- **電池パックを使用、交換するときは、指定の電池パックを使用してください。**
指定以外の電池パックを使用すると、液漏れ・発熱・破裂・やけど・けがの恐れがあります。



⚠ 注 意

- **電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に障害を起こす原因となります。**
液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合はすぐにきれいな水で洗い流してください。また目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。
- **電池パックを熱器具に近づけないでください。**
被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



⚠ 注 意

- 電池パックには寿命があります。保証充電回数に達したり、膨らんだり、指定の時間充電しても十分に充電できなくなったら、新しい電池パックに交換する必要があります。
- 電池パックが膨張し、本商品の背面カバーが閉まらない場合には、新しい電池パックに交換してください。

STOP お願い

- 本商品と付属の専用充電器（標準クレードル、電源アダプタ）／USB ケーブル以外での電池パックの充電はしないでください。 
- 電池パックの液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。 
- 電池パックが変形、膨張した場合は新しい電池パックに交換してください。 

医用電気機器近く取り扱いについて

⚠ 警 告

以下の内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準じています。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から 22cm 以上離して携行および使用してください。 
電波の影響で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性がありますので、本商品の電源を切り、使用を控えてください。 
電波の影響で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

警 告

- **医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。** 
 - ・手術室、集中治療室 (ICU)、冠状動脈疾患監視病室 (CCU) には本商品を持ち込まないでください。
 - ・病棟内では、本商品の電源を切り、使用しないでください。
 - ・ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本商品の電源を切り、使用しないでください。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。
- **自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。** 

電波の影響で電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波に関するご注意

無線 LAN 機器の電波に関するご注意

- 本商品を IEEE802.11n (5GHz) および IEEE802.11a で通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz/5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。

- ・ 使用可能なチャンネル

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a/n
W52 W53 W56

W52 仕様 (5.2GHz 帯 /36ch,40ch,44ch,48ch)

W53 仕様 (5.3GHz 帯 /52ch,56ch,60ch,64ch)

※電波法により、W52、W53 は屋外での使用は禁止です。

- ・ W53 (52/56/60/64ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - 各チャンネルの通信開始前に 1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルが変更されるので、通信が中断されることがあります。
- 本商品を IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g で通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - ・ 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - ・ 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - ・ その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、本書に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。
- 本商品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4	DS/OF	4
-----	-------	---

2.4 : 2.4GHz 帯域を使用する無線設備を示す

DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す

4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す

■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示す

- 本商品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本商品を分解／改造すること
- 本商品は、日本国内でのみ使用できます。

- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
 - ・ 強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
 - ・ 金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
 - ・ 異なる階の部屋どうし
- 本商品と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、伝送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用するに影響を与える場合があります。
- 本商品は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。

無線 LAN 製品で使用时におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティの仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、工場出荷状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

オープンソースソフトウェアについて

本商品に格納されたソフトウェアの一部にはオープンソースソフトウェアが含まれております。当該ソフトウェアに関するライセンス条件などはリファレンスガイドを参照ください。

Windows®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Vista® はオペレーティングシステムです。

Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Mac OS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

フレッツ・スポットは、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。

らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアはいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

目次

1

はじめに

1-1	特長	1-2
	対応OS	1-2
1-2	付属品の確認	1-6
1-3	各部の名称	1-7
	PWR-Q200本体	1-7
	PWR-Q200標準クレードル	1-13
1-4	本商品の初期化	1-15

2

ご使用の前に

2-1	SIMカードの取り付け	2-2
2-2	microSDカードの取り付け	2-4
2-3	電池パックの取り付け	2-5
2-4	充電のしかた	2-6
	電源アダプタで充電する場合	2-6
	USBケーブルで充電する場合	2-6
	標準クレードルを接続して充電する場合	2-7
2-5	電源ON/OFFのしかた	2-9
	電源を入れる	2-9
	電源を切る	2-9
2-6	標準クレードルの使いかた	2-10
2-7	PWR-Q200-OP (Wi-Fiクレードル) を 併用するには	2-11

3

接続設定

3-1	有線LANでPWR-Q200に接続するには	3-2
3-2	無線LANでPWR-Q200に接続するには	3-4
	無線LANでPWR-Q200に接続する (WPS：プッシュボタン式)	3-4
	Windows® 7 の場合	3-4

無線LANでPWR-Q200に接続する (SSID) …	3-6
Windows® 7 の場合 ……………	3-8
Windows Vista®の場合 ……………	3-9
Windows® XP の場合 ……………	3-11
Mac OS X の場合 ……………	3-12
3-3 Web設定画面にログインする ……………	3-13

4

インターネットに接続

4-1 有線LANでインターネットに接続する ……………	4-2
本商品をルータ (PPPoEルータ) として お使いの場合 ……………	4-2
本商品をアクセスポイント (ブリッジモード) として お使いの場合 ……………	4-2
4-2 無線LANでインターネットに接続する ……………	4-5
4-3 フレッツ・スポットでインターネットに接続する ……………	4-8
4-4 フレッツ 光WiFiアクセスでインターネットに 接続する ……………	4-10
4-5 3G回線でインターネットに接続する ……………	4-12

5

困ったときは

5-1 本商品がパソコンに検出されない ……………	5-2
5-2 有線LANで本商品に接続できない ……………	5-3
5-3 無線LANで本商品に接続できない ……………	5-4
5-4 Web設定画面を開けない ……………	5-5
5-5 インターネットに接続できない ……………	5-7
5-6 その他で困ったときは ……………	5-9

6

付録

6-1 仕様一覧 ……………	6-2
6-2 液晶ディスプレイの表示説明 ……………	6-4
6-3 リファレンスガイドについて ……………	6-7

はじめに

1

この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明しています。

1-1	特長	1-2
1-2	付属品の確認	1-6
1-3	各部の名称	1-7
1-4	本商品の初期化	1-15

1-1 特長

本商品の主な特長は次のとおりです。

1. 3G無線モジュール（下り最大7.2Mbps、上り最大5.7Mbps）と着脱式電池パックを本体に内蔵した、持ち運び可能な無線モバイルルータです。
2. 公衆無線LANエリア（フレッツ・スポットなど）では、インターネット接続を3G回線から公衆無線LANに自動切替できます。
3. 宅内では同梱の標準クレードルにより、無線ルータとして利用可能です。
4. オプションのPWR-Q200-OP（Wi-Fiクレードル）とセットで使用するれば、PWR-Q200を外に持ち出しても、宅内で無線LANが利用可能です。

対応OS

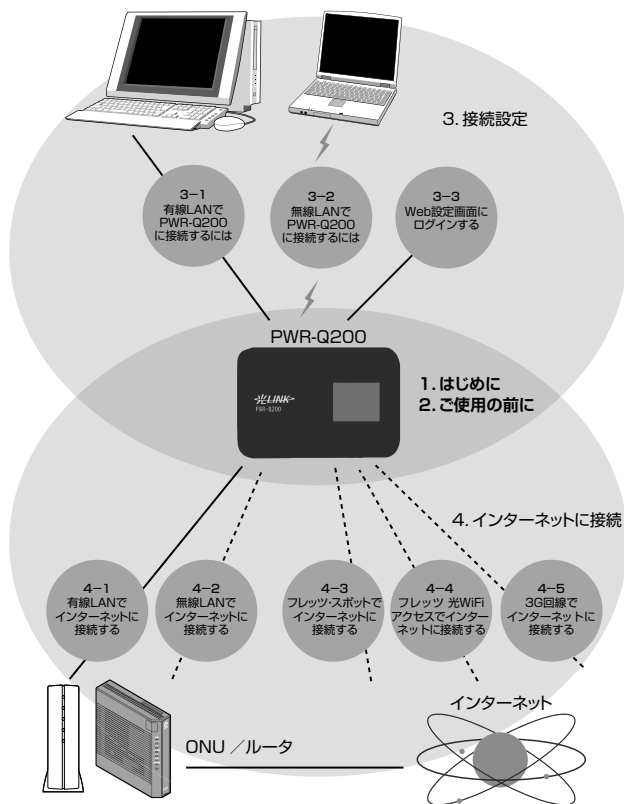
※2012年6月現在の情報です。なお、最新の情報は当社ホームページにてご確認ください。

- ・ Windows® XP SP3（32ビット）
- ・ Windows Vista® SP2（32ビット/64ビット）
- ・ Windows® 7（32ビット/64ビット）
- ・ Mac OS X 10.5以降

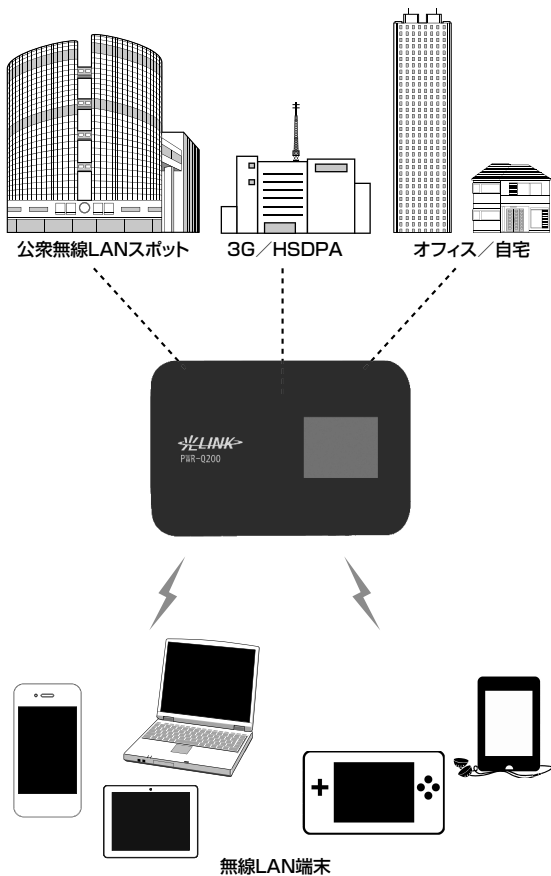
※各OSに準拠したWebブラウザをご利用ください。

※本書では、Windows® 7は、Windows® 7 Starterの各日本語版かつ32ビット（x86）版、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseおよびWindows® 7 Ultimateの各日本語版かつ32ビット（x86）版または64ビット（x64）版の略として使用しています。

※本書では、Windows Vista®は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® BusinessおよびWindows Vista® Ultimateの各日本語版かつ32ビット（x86）版または64ビット（x64）版の略として使用しています。



無線接続イメージ



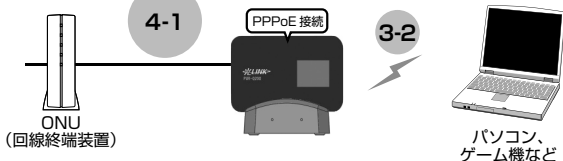
※3G：3Gモバイルデータ通信サービス

ご家庭にて既設のルータなどと接続する場合

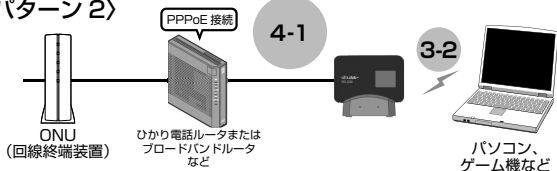
すでに設置済みのひかり電話ルータまたはブロードバンドルータなどに接続する方法として、以下の4パターンがあります。

(ひかり電話ルータは、ONU（回線終端装置）と一体型の場合もあります。)

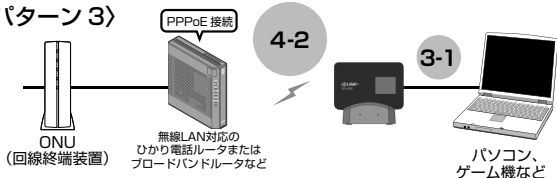
〈パターン1〉



〈パターン2〉



〈パターン3〉



〈パターン4〉



1-2 付属品の確認

ご利用の前に、付属品がすべてそろっていることを確認してください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

- | | |
|------------------------------------|----|
| ● PWR-Q200 本体 | 1台 |
| ● PWR-Q200 標準クレードル | 1台 |
| ● 電源アダプタ | 1個 |
| ● 電池パック | 1個 |
| ● USBケーブル（約30cm、黒、タイプA） | 1本 |
| ● LANケーブル（約2m、黒、カテゴリー5e） | 1本 |
| ● 簡単セットアップガイド／各種端末接続ガイド | 1枚 |
| ● 取扱説明書（本書） | 1冊 |
| ● 本商品のご使用時の注意 | 1枚 |
| ● 無線電波注意ラベル
（無線LAN機器の電波に関するご注意） | 1枚 |



警告

他の電源アダプタや USB ケーブルを、本商品に使用しないでください。また、付属の電源アダプタを、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

電池パック（消耗品について）

電池パックは消耗品です。長時間充電してもすぐに電池残量がなくなる場合は、新しい電池パック（品名:PWR-Q200電池パック）に交換してください。ご購入については、サプライセンタにお問い合わせください。

サプライセンタ

0120-868289

■電池パック回収のお願い



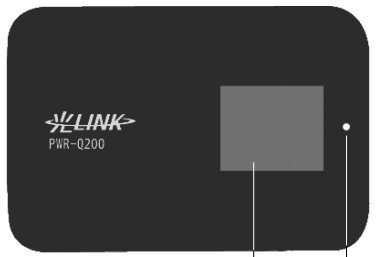
Li-ion

使用済み電池パックなどは、貴重な資源です。使用後は端子が接触しないように端子にテープを貼るなどの処置をしてから、当社のサービス取扱所にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示にしたがってください。リサイクル推進にご協力をお願いします。

1-3 各部の名称

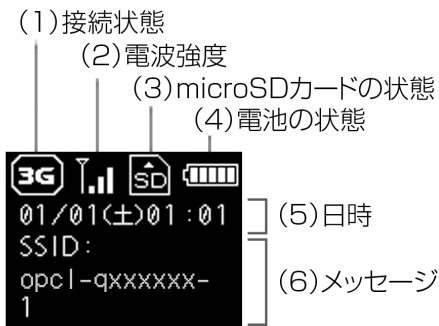
PWR-Q200本体

本体前面



液晶ディスプレイ LEDランプ

1. 液晶ディスプレイの説明



お知らせ

液晶ディスプレイ表示は自動的に消灯します。消灯している状態で電源ボタンや SET ボタンのタップや標準クレードルまたは PWR-Q200-OP (Wi-Fi クレードル) の接続などの動作を行うと、液晶ディスプレイの表示は点灯します。

位置	表示	状態	説明
(1) 接続状態		点灯	有線LANでインターネットに接続。
		点灯	無線LANでインターネットに接続。
		点灯	3Gでインターネットに接続。
		点灯	最適なネットワークを自動選択して接続。
		点灯	WPS機能／らくらく無線スタート起動中。
(2) 電波強度		点灯	3G信号の強度を3段階で表示。
		点灯	Wi-Fi信号の強度を3段階で表示。
		点灯	3Gでインターネット接続できません。
		点灯	Wi-Fiでインターネット接続できません。
		点灯	3G/Wi-Fiが圏外。
(3) microSDカードの状態		点灯	microSDカードが利用可能な場合。
		点滅	microSDカード読み書き中。
		なし	利用可能なmicroSDカードが挿入されていない場合。
		点滅	microSDカードエラー。
(4) 電池の状態		点灯	電池残量を5段階で表示。
		点滅	電池充電中。
		点滅	バッテリー容量が低下しています。充電してください。
(5) 日時			日付と時刻を表示。
(6) メッセージ			「6-2 液晶ディスプレイの表示説明」を参照してください。

2. LEDランプ

外部電源供給がない場合のLEDランプの色と状態

LED状態	電源OFF	スタンバイ	休止状態	電源ON			
				起動中	動作中	通信中	異常
色	—	黄	—	赤	緑	緑	赤
状態	消灯	点灯	消灯	点滅	点灯	点滅	点灯

外部電源供給がある場合のLEDランプの色と状態

LED状態	電源OFF		電源ON							
	充電中	充電完了	充電中				充電完了			
			起動中	動作中	通信中	異常	起動中	動作中	通信中	異常
色	黄	—	赤	黄	緑	赤	赤	緑	緑	赤
状態	点灯	消灯	点滅	点滅	点滅	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯

本体側面

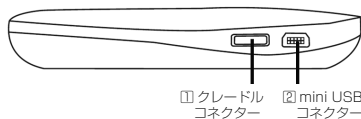
PWR-Q200側面上方の図示と説明

① 電源ボタン ② SETボタン



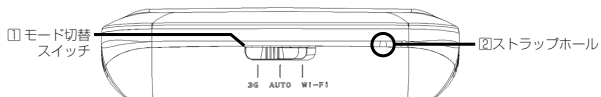
名称		説明
① 電源ボタン	電源ON	電源OFFの状態では電源ボタンを約3秒以上押し続けると、前面のLEDランプが赤く点滅し、電源ONの状態になります。
	電源OFF	休止状態を除く本商品の動作中に電源ボタンを約3秒以上押し続け、LEDランプが消灯してからボタンを放すと、電源がOFFになります。
	休止状態	「電源ボタンでの休止状態移行」を「する」にした場合、休止状態を除く本商品の動作中に電源ボタンを短い時間押しして本商品を休止状態にすることができます。
	ウェイクアップ	スタンバイもしくは休止状態で電源ボタンを短い時間押しして本商品をウェイクアップさせます。ウェイクアップ後、液晶ディスプレイにはメッセージの表示が復元します。
② SETボタン		電源ONの状態では3秒間押し続けると、無線LANクライアントまたは無線LANアクセスポイントとの無線LAN簡単設定を開始します。電源ONの状態ではSETボタンを短い時間押しすると、メッセージ表示が切り替わります。
	ウェイクアップ	スタンバイもしくは休止状態でSETボタンを短い時間押しして本商品をウェイクアップさせます。ウェイクアップ後、液晶ディスプレイにはメッセージの表示が復元します。

以下はPWR-Q200側面下方の図示と説明



名称	説明
① クレードル コネクター	標準クレードルまたはPWR-Q200-OP（Wi-Fiクレードル）に接続できます。
② mini USB コネクター	付属の電源アダプタまたはUSBケーブルに接続して充電できます。

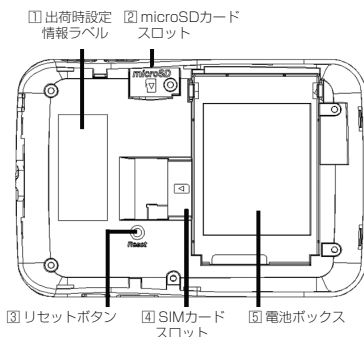
以下はPWR-Q200側面右側の図示と説明



名称	説明
① モード切替 スイッチ	3GおよびWi-Fiの接続モードを設定します。 3G : 3Gのみに接続 Auto : 3GおよびWi-Fiを自動切替 Wi-Fi : Wi-Fiのみに接続
② ストラップホール	背面のカバーを取り外し、市販のストラップを取り付けることができます。

本体背面

以下はPWR-Q200の背面カバーを開いた状態の背面図



名称	説明
① 出荷時設定 情報ラベル	本商品の出荷時の無線ネットワーク名 (SSID) および暗号化キー、MACアドレスが記載されています。
② microSDカード スロット	microSDカード* (microSDHCカードを含む) の挿入に使用します。
③ リセットボタン (Reset)	電源をONにして、液晶ディスプレイに「初期化中…」と表示されるまでこのリセットボタンを押し続けると、設定が初期化され、工場出荷時状態に戻ります。
④ SIMカード スロット	SIMカードを挿入します。
⑤ 電池ボックス	電池パックをセットします。

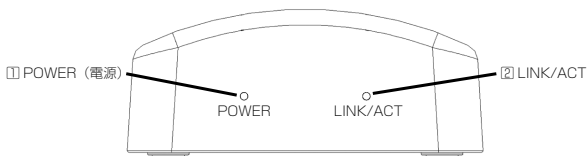


お知らせ

- microSDカードの規格はSD Card Specification Ver2.0に準拠する必要があります。32GB以上のカードは使用できません。
- 記憶装置 (microSDカード) に記録された内容は、故障や障害の内容に関わらず、保証いたしかねます。
- すべてのmicroSD/microSDHCカードの動作確認は行っておりません。動作確認済みのmicroSD/microSDHCカードは、当社ホームページにてご確認ください。

PWR-Q200標準クレードル

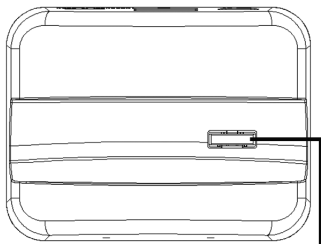
PWR-Q200標準クレードル前面



LEDランプ表示

名称	表示 (色)		説明
① POWER(電源)	点灯	緑	付属の電源アダプタまたはUSBケーブルを接続して電源供給しています。
② LINK/ACT	標準クレードル背面のEthernetポートの状態を表示します。ランプ表示の定義は以下の通りです。		
	消灯	—	Ethernetポートにケーブルが未接続です。
	点灯	緑	Ethernetポートにケーブルを接続し、リンクアップしました。
	点滅	緑	通信しています。

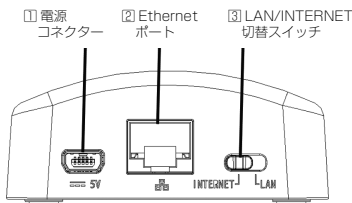
PWR-Q200標準クレードル上面



① クレードルコネクタ

名称	説明
① クレードルコネクタ	標準クレードルとPWR-Q200本体を接続するコネクタです。

PWR-Q200標準クレードル背面



名称	説明
① 電源コネクタ	付属の電源アダプタの接続に使用します。 またはUSBケーブルでパソコンに接続し電源を供給します。
② Ethernetポート	Ethernetポートには付属のLANケーブルを使用します。
③ LAN/INTERNET切替スイッチ	EthernetポートをLANポートとして使用するかINTERNETポートとして使用するかを切り替えます。



標準クレードルの電源コネクタとの接続は、必ず本商品に付属の電源アダプタまたはUSBケーブルをご使用ください。

1-4 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。

本商品が正常に動作しない場合や管理者パスワードを忘れたり、IP アドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

[Web 設定画面] で初期化することもできます。詳細は、リファレンスガイドの [Web 設定画面] の「管理設定」－ [初期化] を参照してください。初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますので、設定内容をパソコンのハードディスクなどに保存しておくことを推奨します。

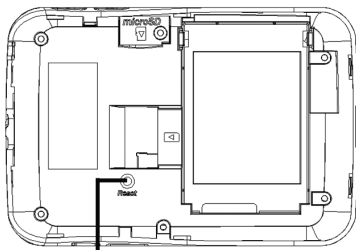
詳細はリファレンスガイドを参照してください。

-
- 1** 本商品の電源をONにします。

※ 本商品が起動すると液晶ディスプレイに日時が表示されます。その状態になるまでお待ちください。

-
- 2** 背面のカバーを取り外します。

-
- 3** 液晶ディスプレイに「初期化中…」と表示されるまで本商品のリセットボタンを押し続けます。



リセットボタン



お知らせ

本商品に設定する（接続）ユーザ名や（接続）パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分ご注意ください。本商品を当社に返却する場合など、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

ご使用前に

2

この章では、ご使用前に行うまたは確認していただきたいことを説明しています。

2-1	SIMカードの取り付け	2-2
2-2	microSDカードの取り付け	2-4
2-3	電池パックの取り付け	2-5
2-4	充電のしかた	2-6
2-5	電源ON/OFFのしかた	2-9
2-6	標準クレードルの使いかた	2-10
2-7	PWR-Q200-OP (Wi-Fiクレードル) を併用するには	2-11

2-1 SIMカードの取り付け

携帯電話事業者のデータ通信（3G）をご利用になる場合

本商品にSIMカードを取り付けてご使用になる場合は、下記の確認を十分に行ってください。

- ・ 携帯電話事業者との契約内容をご確認ください。特に従量制契約の場合はご利用パケット数などによって課金されますのでご注意ください。
- ・ 本商品の接続先設定などが、携帯電話事業者との契約内容に沿った設定であることをご確認ください。

※お客様のご契約内容とご利用形態（接続先APNの設定など）に対する通信料金については、ご利用の前に携帯電話事業者のインフォメーションセンター、販売店、販売代理店にてご確認ください。



お知らせ

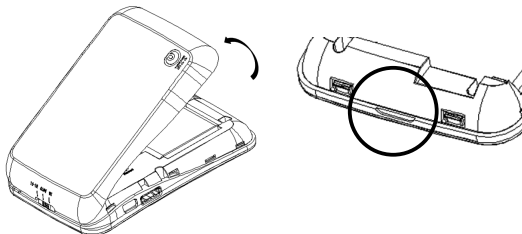
PINコードの設定をしているSIMカードをお使いの場合は、PINコードの入力が必要です。
PINコードの入力方法はリファレンスガイドを参照してください。



参照

SIMカードの取り扱いは、SIMカードに付属の取扱説明書を参照してください。

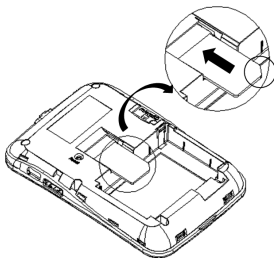
- 1** 背面のカバーを外します。
取り外し部分に凹部がありますのでここを利用して下図のように開いてください。



お知らせ

指先をけがしないように十分注意して開けてください。

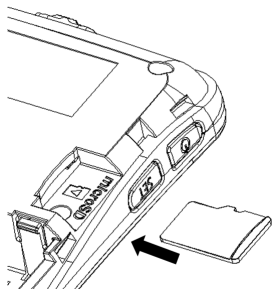
- 2** SIMカードの金色の接点を下側にし、切り欠きを外に向けて図示のとおり挿入します。



2-2 microSDカードの取り付け

microSDカードをお持ちでない場合は、「2-3 電池パックの取り付け」へ進んでください。

- 1** microSDカードの金色の接点を下側にし、図示のとおり挿入します。



- 2** microSDカードを、microSDカードスロットに、「カチッ」とロックされるまで押し込みます。



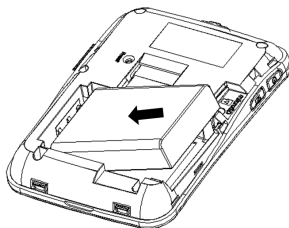
お知らせ

- スタンバイもしくは休止状態で本商品にmicroSDカードを挿入すると、本商品はスタンバイもしくは休止状態から復帰します。
- 本商品がデータを転送中または保存している最中、またはスタンバイや休止状態からの復帰中にmicroSDカードを取り出さないでください。データの損失、またはmicroSDカードや本商品の破損を招く恐れがあります。
- microSDカードを取り外すときは、いったん「カチッ」と音がするまで押し込んでから取り外してください。
- microSDカードをすばやく抜き差しすると、正しく認識できない場合があります。挿入後にすぐに取り外したり、取り外し後にすぐに挿入しないでください。

2-3 電池パックの取り付け

1 背面カバーを取り外します。

2 電池パックを挿入します。



3 背面カバーを元通りに取り付けます。



お知らせ

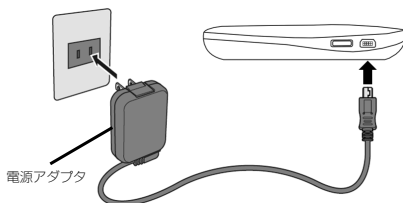
- 本商品専用以外の電池パックを使用しないでください。本商品専用以外の電池パックを使用すると、PWR-Q200が故障する場合があります。
- 電池パックを取り付けていないと、電源アダプタを接続してもご利用できません。
- ご提供の状態では、電池パックは十分に充電されておりません。本商品をご使用になる前に、「2-4 充電のしかた」を参照して電池パックを充電してください。
- 電池パックを取り外す場合は、本商品を電源OFFにしてから取り外してください。本商品を電源ONにしたまま、電池パックを取り外すと故障の原因となります。

2-4 充電のしかた

電池パックの充電は、付属の電源アダプタまたはUSBケーブルで行います。

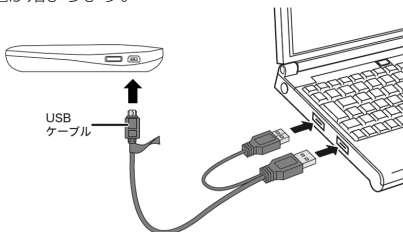
電源アダプタで充電する場合

電源アダプタをコンセントと本商品のminiUSBコネクタに接続します。接続が完了すると、充電が始まります。



USBケーブルで充電する場合

ケーブル（USBポート2個）の一端をパソコンのUSBポートに接続します。もう一端を本商品のmini USBコネクタに接続します。接続が完了すると、充電が始まります。

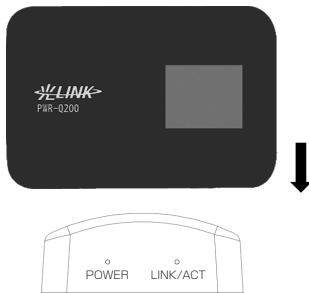


お知らせ

- USBからの給電の仕様上、必ず付属のUSBケーブルを使用し、パソコン側のUSBポート2つに接続してください。1ポートだけでは正常に充電できず、思わぬ事故につながる可能性があります。
- スタンバイもしくは休止状態で本商品にUSBケーブルを接続し、充電をすると本商品はスタンバイもしくは休止状態から復帰します。
- 充電時間はおよそ240分です。

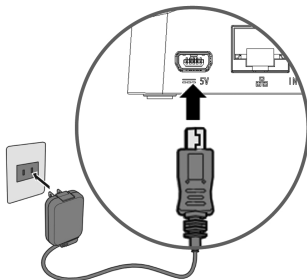
標準クレードルを接続して充電する場合

- 1** PWR-Q200本体を標準クレードルに差し込みます。

**お知らせ**

- 標準クレードルへの取り付けは、確実に行ってください。確実に取り付けられていないと、正常に動作しない場合があります。その場合は、標準クレードルから完全に取り外したあとに、再度、確実に標準クレードルに取り付け直してください。
- 標準クレードルに取り付けてご利用いただく際には、インターネットなどへの通信が可能となるまでに多少の時間がかかる場合があります。しばらくお待ちいただいでからご利用ください。

- 2** 付属の電源アダプタまたはUSBケーブルを使用します。ケーブルの一端を標準クレードルのmini USBコネクタに、もう一端を電源コンセントまたはパソコンのUSBポートに接続します。



メモ

- 電源アダプタを接続している場合は、本商品を標準クレードルに設置すると、自動的に充電が始まります。充電時間はおよそ240分です。
- スタンバイもしくは休止状態で本商品を標準クレードルに差し込むと、本商品はスタンバイもしくは休止状態から復帰します。



警告

標準クレードルの電源コネクタとの接続は、必ず本商品に付属の電源アダプタまたはUSBケーブルをご使用ください。

2-5 電源ON/OFFのしかた

電源を入れる

- 1** 電源ボタンを約3秒以上押し続けます。
- LEDランプが赤く点滅し、液晶ディスプレイに「Now Loading…」と表示されます。



電源を切る

- 1** 電源ボタンを約3秒以上押し続けます。
- 休止状態を除く本商品の動作中に電源ボタンを約3秒以上押し続けるとランプが消え、電源ボタンを離すことでPWR-Q200の電源がOFFになります。



お知らせ

本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。電源が入らなくなった場合は、「5-6 その他で困ったときは」（5-9ページ）を参照してください。

2-6 標準クレードルの使いかた

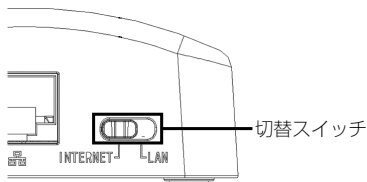
LANケーブルで、本商品を他のネットワーク機器に接続する場合は、付属の標準クレードルを使用します。以下の手順で行ってください。

- 1 標準クレードル背面の切替スイッチをLANまたはINTERNETに設定します。



お知らせ

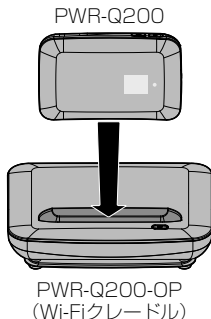
既設のひかり電話ルータやブロードバンドルータのLAN端子と標準クレードルを接続する場合は、スイッチをINTERNETに合わせてください。パソコンと標準クレードルを接続する場合は、スイッチをLANに合わせてください。



2-7 PWR-Q200-OP (Wi-Fiクレードル) を併用するには

PWR-Q200-OP (Wi-Fiクレードル) は、本商品のオプション品です。本商品を直接設置することができます。

※ 付属の標準クレードルおよびPWR-Q200-OP (Wi-Fiクレードル) 以外には取り付けないでください。



本商品を PWR-Q200-OP (Wi-Fi クレードル) に設置すると、本商品のすべての無線機能 (3G、Wi-Fi) が終了され、PWR-Q200-OP (Wi-Fi クレードル) の機能により、インターネット接続が可能となります。本商品を PWR-Q200-OP (Wi-Fi クレードル) に設置している際は、本商品の液晶ディスプレイに  が表示され本商品の microSD カードへのアクセス、本商品への充電およびファームウェア更新機能や自動コンテンツ機能を実行することができます。



お知らせ

- スタンバイもしくは休止状態で本商品をPWR-Q200-OP (Wi-Fiクレードル) に取り付けると、本商品はスタンバイもしくは休止状態から復帰します。
- PWR-Q200-OP (Wi-Fiクレードル) への取り付けは、確実に行ってください。確実に取り付けられていないと、正常に動作しない場合があります。その場合は、PWR-Q200-OP (Wi-Fiクレードル) から完全に取り外した後に、再度、確実にPWR-Q200-OP (Wi-Fiクレードル) に取り付け直してください。



参照

PWR-Q200-OP (Wi-Fiクレードル) の接続方式と設定については、PWR-Q200-OP (Wi-Fiクレードル) の取扱説明書を参照してください。

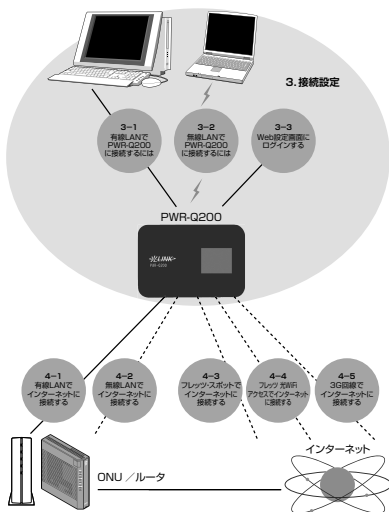
— MEMO —

接続設定

3

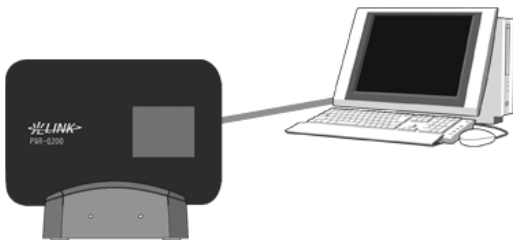
この章では、LANの接続方法を説明しています。

- 3-1 有線LANでPWR-Q200に接続するには…………… 3-2
- 3-2 無線LANでPWR-Q200に接続するには…………… 3-4
- 3-3 Web設定画面にログインする …………… 3-11

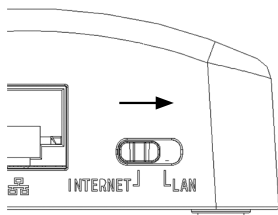


3-1 有線LANでPWR-Q200に接続するには

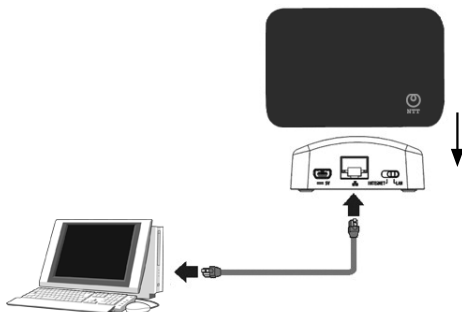
デスクトップパソコンによっては無線 LAN 機能を搭載していないものがあります。この場合、PWR-Q200 を標準クレードルに取り付け、標準クレードルの切替スイッチを「LAN」に設定します。次に、デスクトップパソコンの LAN ケーブルを標準クレードルの LAN コネクターに接続します。



-
- 7** 標準クレードルの切替スイッチを「LAN」の位置に切り替えます。

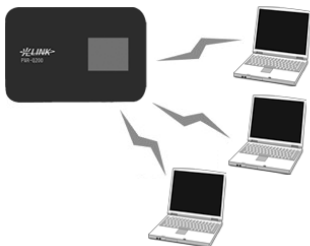


- 2** 下図のとおり、PWR-Q200を標準クレードルに取り付け、LANケーブルを使ってパソコンに接続します。



3-2 無線LANでPWR-Q200に接続するには

PWR-Q200を介して2台以上のパソコンをインターネットに接続する場合、PWR-Q200の接続には無線LANを利用します。



無線 LAN で PWR-Q200 に接続する（WPS：プッシュボタン式）

Windows® 7 の場合

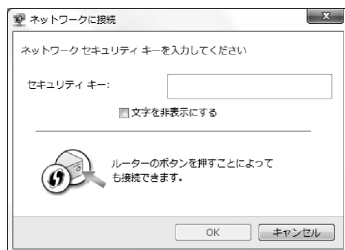
- 1 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコン  をクリックします。

※タスクトレイは通常画面右下にあります
※アイコンの絵は実際と異なる場合があります

- 2** 本商品の無線ネットワーク名（SSID）を選択してください。継続的にご使用される場合「自動的に接続する」にチェックを入れた後、[接続] をクリックします。



- 3** 下のような画面が表示されたら、暗号化キーを入力せずに、本商品のSETボタンを3秒以上押してください。



- 4** 液晶ディスプレイに「簡単設定 設定を開始します」と表示されます。



- 5** 液晶ディスプレイに「WPS 設定完了しました」と表示されたら設定完了です。



お知らせ

接続できない場合は、暗号化キーを入力し、[OK] をクリックしてください。

無線LANでPWR-Q200に接続する (SSID)

Windows® (または他のOS)の無線LANの接続機能を使用してPWR-Q200に接続できます。

設定手順は使用するWindows® (または他のOS)のバージョンによって異なります。PWR-Q200は、2.4 GHzでの通信が可能です。

工場出荷時の設定では、SSID1のみ検索されます。また、セキュリティ上、暗号化の設定がされています。

SSID1: pwr - qxxxxxx - 1	工場出荷時の無線ネットワーク名 (SSID) および暗号化キーは本体内部の出荷時設定情報ラベルに記載されています。 (ラベルの位置は1-12ページの図示を参照してください) 暗号化は「WPA2-PSK(AES)」が設定されています
SSID2: pwr - qxxxxxx - 2	工場出荷時の無線ネットワーク名 (SSID) および暗号化キーは本体内部の出荷時設定情報ラベルに記載されています。 (ラベルの位置は1-12ページの図示を参照してください) 暗号化は「WEP(128bit)」が設定されています



お知らせ

- 本商品は2つの無線ネットワーク名 (SSID) を使用することが可能です。WEP など、WPA2-PSK (AES) に未対応の機器を使用して接続する方法はリファレンスガイドを参照してください。
- 本商品は工場出荷状態では、SSID2 は「無線ネットワーク名 (SSID-2) の隠蔽」が「隠蔽を使用する」に設定されています。
- デュアルチャネルを「使用する」に設定していても、ご利用の環境によってはデュアルチャネルがご利用いただけない場合があります。
- 標準クレードル設置時、本商品の設定によっては、無線LAN端末との接続を停止します。(本商品のファームウェア更新機能は実行することができます)
- IEEE802.11b、IEEE802.11g およびIEEE802.11nを使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11nを使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- IEEE802.11nテクノロジー 通信を行うためには、無線LAN端末の暗号化を「WPA-PSK (AES)」または「WPA2-PSK (AES)」に設定する必要があります。



参照

無線LAN接続の詳細につきましては、リファレンスガイドを参照してください。

次ページ以降では、各OSの接続操作方法について説明します。

Windows® 7 の場合

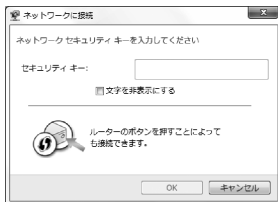
1 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコンをクリックします。

※タスクトレイは通常画面右下にあります
※アイコンの絵は実際と異なる場合があります

2 本商品の無線ネットワーク名（SSID）を選択してください。継続的にご使用される場合「自動的に接続する」にチェックを入れた後、[接続] をクリックします。



3 本商品の暗号化キーを入力してください。暗号化キーは、本体内部の出荷時設定情報ラベルに記載されています。入力後 [OK] をクリックします。



4 画面の指示にしたがって、設定を完了してください。タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコンが接続状態になると接続完了です。

Windows Vista®の場合

- 1 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコン  を右クリックします。

※タスクトレイは通常画面右下にあります
※アイコンの絵は実際と異なる場合があります

- 2 「ネットワークに接続」をクリックします。

ネットワークに接続
ネットワーク共有センター

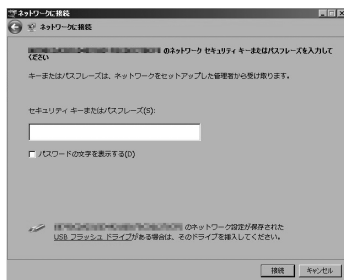
- 3 本商品の無線ネットワーク名（SSID）を選択して「接続」をクリックします。



- 4 「PINコード入力画面」が表示された場合は、[代わりに、ネットワークキーまたはパスフレーズを入力する必要があります]をクリックしてください。表示されない場合は、手順5へ進んでください。



- 5** PWR-Q200の暗号化キーを入力してください。
暗号化キーは、本体内部の出荷時設定情報ラベルに記載されています。入力後「接続」をクリックします。



- 6** 画面の指示にしたがって、設定を完了してください。
パソコンの「ネットワークに接続」画面を確認すると、接続した無線ネットワーク名（SSID）の横に「接続」と表示されます。

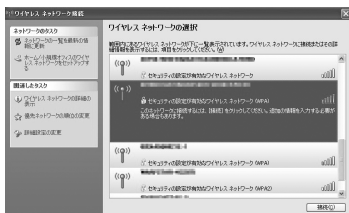
Windows® XP の場合

- 1 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコン  を右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] を選択します。

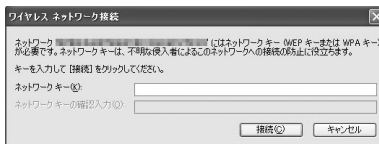
※タスクトレイは通常画面右下にあります

※アイコンの絵は実際と異なる場合があります

- 2 本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択して [接続] をクリックします。



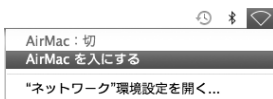
- 3 暗号化キーを「ネットワークキー」と「ネットワークキーの確認入力」の両方に入力してください。
暗号化キーは、本体内部の出荷時設定情報ラベルに記載されています。入力後 [接続] をクリックします。



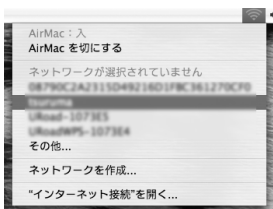
- 4 画面の指示にしたがって、設定を完了してください。
パソコンの「ワイヤレスネットワークの選択」画面を確認すると、接続した無線ネットワーク名 (SSID) の横に「接続」と表示されます。

Mac OS X の場合

- 1** 画面上部のアイコン  をクリックし、「AirMac を入にする」を選択します。実行すると、周囲の無線ネットワークが自動的に検出されます。



- 2** 画面上部のアイコン  をクリックし、右の画面が表示されたら、本商品の無線ネットワーク名（SSID）を選択してください。



- 3** 「選択した AirMac ネットワークに接続するには、パスワードが必要です。」と表示されます。暗号化キーを「パスワード」に入力して「パスワードをキーチェーンに保存」にチェックを入れ[OK]をクリックします。暗号化キーは、本体内部の出荷時設定情報ラベルに記載されています。

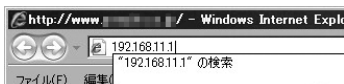


ワイヤレスネットワークのアイコンが接続状態になると設定完了です。

3-3 Web設定画面にログインする

PWR-Q200の設定を行う場合は、以下の手順にしたがってWeb設定画面にログインしてください。

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーにPWR-Q200のLAN側IPアドレスを入力して、ENTERキーを押します。



メモ

PWR-Q200の工場出荷時のLAN側IPアドレスは192.168.11.1です。ブリッジモードを設定している場合、本商品に割り振られているIPアドレスを確認してください。

- 3 この画面が表示されたら、ユーザー名に「root」（小文字）を入力し、初期インストールの際に設定したパスワードを入力します。



メモ

- 工場出荷時では、パスワードは空欄（未設定）です。
- パスワードを忘れた場合は、「リセットボタン」（1-15 ページ）を押して、すべての設定を初期化します。「リセットボタン」押下により、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。「リセットボタン」押下の際はご注意ください。

Web設定画面



光ポータブルかんたん設定を開始します

インターネット接続などの各種設定や無線LANの基本設定など本商品に関する設定を簡単に行います。

設定ウィザードの選択

- 光ポータブルのかんたん設定を開始します。

本機をクレドールに設置し、電源を接続してください。



Web設定画面にログインした後、必要に応じて関連設定を行ってください。機能の詳細については、リファレンスガイドを参照してください。

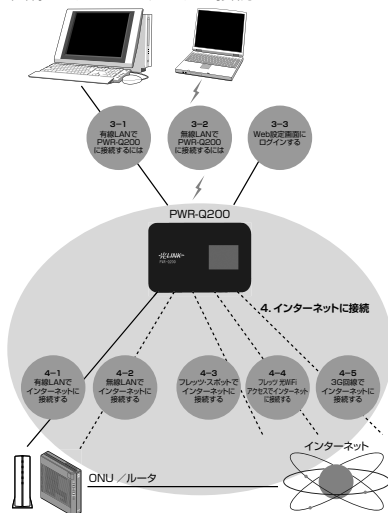
※本商品のWeb設定や設定内容の確認には、Windows®およびWindows Vista®の場合はInternet Explorer® (6.0～9.0)、Mac OSの場合はSafari (3.0.4～5.1.4) のご利用をお勧めします。ゲーム機や携帯端末に搭載されているWebブラウザの場合、本商品の設定や画面表示が正しく行われない場合があります。

インターネットに接続

4

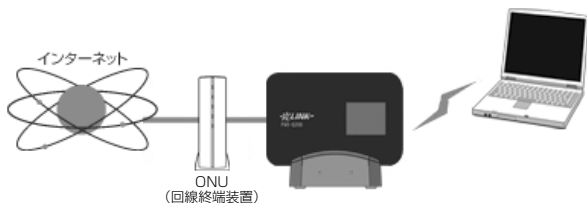
この章では、インターネットへの接続方法を説明しています。

- 4-1 有線LANでインターネットに接続する 4-2
- 4-2 無線LANでインターネットに接続する 4-5
- 4-3 フレッツ・スポットでインターネットに接続する 4-8
- 4-4 フレッツ 光WiFiアクセスでインターネットに
接続する 4-10
- 4-5 3G回線でインターネットに接続する 4-12

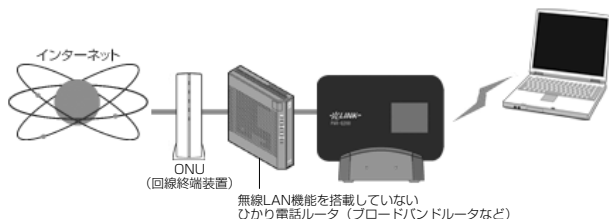


4-1 有線LANでインターネットに接続する

本商品をルータ（PPPoEルータ）としてお使いの場合



本商品をアクセスポイント（ブリッジモード）としてお使いの場合



Web設定画面から [WAN設定] - [有線LAN] をクリックしてください。

本商品にインターネット接続の設定（プロバイダ情報の入力）を行い、ルータとしてお使いの場合は、[PPPoEルータ]を選択します。無線LAN機能を搭載していないブロードバンドルータなどと接続し、アクセスポイント（ブリッジモード）としてお使いの場合は、[ブリッジ（DHCP）]を選択します。

※ [ローカルルータ]、[ブリッジ] につきましてはリファレンスガイドをご参照ください。

● PPPoEルータ

PPPoEルータを選択した場合は、[編集]をクリックして設定に進むことができます。



接続方式:

PPPoEルータ

PPPoE

接続先名	接続可	優先接続	
	☒	①	編集
	☐	②	編集

4-1 有線LANでインターネットに接続する

ユーザー名 とパスワードを入力し、IPアドレス、DNSの取得方法を指定します。最後に [設定] をクリックすると接続可能になります。

光LINK PWR-Q200

基本設定 WAN設定 LAN設定 セキュリティ コンテンツ 管理設定 情報 NTT

設定 3G/HSPA Wi-Fi 有線LAN

接続先設定(接続先)

接続先名: 接続先1

ユーザー名:

パスワード: ☐ パスワードを表示する

IPアドレス: ☒ 自動設定 ☐ 手動設定 ☐ Unnumbered

IPアドレス/ネットマスク: /

DNS設定

☒ 自動設定 ☐ 手動設定

プライマリDNS:

セカンダリDNS:

拡張設定

認証方式: 自動選択

接続モード: 常時接続

自動切断までの時間: 30 分

PPPキープアラブ機能: ☒ 使用する

PING応答機能: ☐ 使用する

設定

● ブリッジ (DHCP)

ブリッジ(DHCP)を選択した場合は、[設定] をクリックすると本商品をアクセスポイント (ブリッジモード) として使用できます。

光LINK PWR-Q200

基本設定 WAN設定 LAN設定 セキュリティ コンテンツ 管理設定 情報

設定 3G/HSPA Wi-Fi 有線LAN

WAN設定(有線LAN)

接続方式: ブリッジ(DHCP)

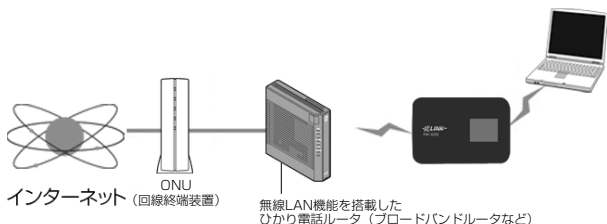
設定



お知らせ

- 有線LANに接続されると液晶ディスプレイに  と表示されます。
ブリッジモードで取得したIPアドレスは液晶ディスプレイで確認できます。
有線LANでインターネットに接続する場合、標準クレードルのLAN/INTERNET切替スイッチを「INTERNET」に設定します。
- 本商品は自動的にバージョンアップする機能を搭載しています。インターネット接続が可能な状況においては、ファームウェアの自動更新や時刻修正の機能が働きます。

4-2 無線LANでインターネットに接続する



1

[WAN 設定] - [Wi-Fi] - [アクセスポイント検索] の順で選択すると、設定ページには発見したアクセスポイントの無線ネットワーク名 (SSID) が表示されます。



2 接続する無線ネットワーク名（SSID）名リストのをクリックします。

ネットワーク名 (SSID)	受信レベル	電波化	バンド	チャンネル	設定
pwr-q841a5c-1			bgn	8	
pwr-q841a5c-2			bg	8	
opd-q778374-2			bgn	1	
0024A569E6AC			bg	1	

3 「接続方式」で「ブリッジ（DHCP）」を選択し、「無線の暗号化」とパスワードを設定します。設定後は、「設定」をクリックして設定値を保存します。 必要に応じて、その他の設定値も修正してください。その他の設定内容の詳細はリファレンスガイドを参照してください。



ネットワーク名(SSID):

接続方式:

WPA2暗号化: ☐ 使用する

無線の暗号化:

事前共有キー(PSK):

☐ パスワードを表示する



- [設定] をクリックしたあと、本商品にアクセスできなくなる場合があります。その場合は、Web ブラウザを一度終了し、接続する端末と本商品の設定をあわせたと、Web ブラウザを開き直してください。
- IP アドレスを DHCP で取得する場合は「ブリッジ（DHCP）」を選択してください。IP アドレスを指定する場合は「ブリッジ」を選択してください。



お知らせ

- 無線LANに接続されると液晶ディスプレイに接続先無線ネットワーク名（SSID）と電波強度が3段階で表示されます。ブリッジモードで取得したIPアドレスは液晶ディスプレイで確認できます。
- 設定後、パソコンやゲーム機などがインターネットに接続できない場合は、各機器を再起動するなどのネットワーク再設定を行ってください。

- 4 設定完了後は、[プロファイル] がポップアップ表示され、設定済みの接続アイテムが表示されます。



有効	ネットワーク名	操作
☒	opcl-q778373-1	編集 削除

新規追加

設定

- 5 「基本設定」をクリックして、現在のWAN接続状態を調べることができます。



装置名: pwr-q845b0f
 電源:
 WAN接続状況: 未接続
 動作モード: Wi-Fi接続モード
 外部接続: クレジットル未接続



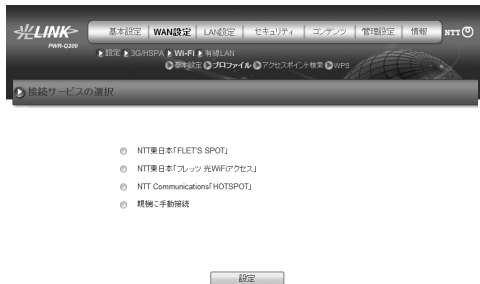
本商品のWAN側無線と接続可能な動作確認済みルートにつきましては、
http://web116.jp/shop/hikari_p/q200/q200_00.html
 の「動作確認状況」を参照してください。

4-3 フレッツ・スポットでインターネットに接続する

- 1 [WAN 設定] - [Wi-Fi] - [プロファイル] の順で選択すると、[新規追加] と [設定] が表示されます。[新規追加] をクリックします。



- 2 [NTT東日本「FLET'S SPOT」] を選択し、[設定] をクリックします。



3 各項目を入力し、[設定] をクリックします。

光LINK PWR-G200

基本設定 | **WAN設定** | LAN設定 | セキュリティ | コンテンツ | 管理設定 | 情報 | NTT

設定 ▶ 3G/HSPA ▶ Wi-Fi ▶ 無線LAN

基本設定 ▶ プロファイル ▶ アクセスポイント検索 ▶ WPS

▶ プロファイル新規作成(NTT東日本「FLET'S SPOT」)

契約サービス: 標準プラン

(接続)ユーザー名:

(接続)パスワード: 目 パスワードを表示する

ローミングエリア及び光ステーションエリア: ☒ 利用する

フレッツ・スポット認証ID: @e-flets.jp

フレッツ・スポット認証パスワード: 目 パスワードを表示する

[設定]

4 設定完了後は、「無線 LAN プロファイル」に「NTT 東日本「FLET'S SPOT」」が登録されていることを確認します。

光LINK PWR-G200

基本設定 | **WAN設定** | LAN設定 | セキュリティ | コンテンツ | 管理設定 | 情報 | NTT

設定 ▶ 3G/HSPA ▶ Wi-Fi ▶ 無線LAN

基本設定 ▶ プロファイル ▶ アクセスポイント検索 ▶ WPS

▶ 無線LAN プロファイル

有効	ネットワーク名	操作		
☒	NTT東日本「FLET'S SPOT」	編集	削除	

[新規追加] [設定]

5 「基本設定」をクリックして、現在のインターネット接続状態を調べることができます。

▶ インターネット接続情報(無線LAN)

接続状態: 通信中

電波状態: 中

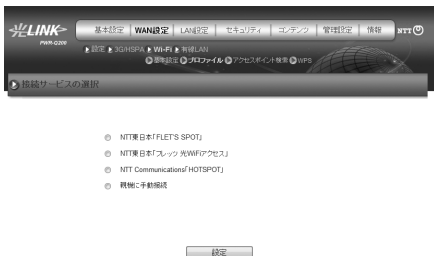
接続先名: NTT東日本「FLET'S SPOT」

4-4 フレッツ 光WiFiアクセスでインターネットに接続する

- 1 [WAN 設定] - [Wi-Fi] - [プロファイル] の順で選択すると、[新規追加] と [設定] が表示されます。[新規追加] をクリックします。



- 2 [NTT東日本「フレッツ 光WiFiアクセス」] を選択し、[設定] をクリックします。



3 各項目を入力し、[設定] をクリックします。



FLET'S SPOTのフレッツ・スポット認証IDおよびフレッツ・スポット認証パスワードは、下記で設定した認証IDとパスワードに設定されます。
※既に設定済みの場合は下記の認証IDと認証パスワードに上書きされます。

フレッツ 光WiFiアクセス認証ID: @wifi-flets.jp
フレッツ 光WiFiアクセス認証パスワード: ☐ パスワードを表示する

設定

4 設定完了後は、「無線 LAN プロファイル」に「NTT 東日本「フレッツ 光 WiFi アクセス」」が登録されていることを確認します。



有効	ネットワーク名	操作
☒	NTT東日本「フレッツ 光WiFiアクセス」	編集 削除

新規追加 設定

5 「基本設定」をクリックして、現在のインターネット接続状態を調べることができます。

インターネット接続情報(無線LAN)

接続状態: 通信中
電波状態: 中
ネットワーク名: NTT東日本「フレッツ 光WiFiアクセス」



お知らせ

- FLET'S SPOTのフレッツ・スポット認証IDおよびフレッツ・スポット認証パスワードは、手順3で設定した認証IDと認証パスワードに設定されます。
※既に設定済みの場合も手順3の認証IDと認証パスワードに上書きされます。

4-5 3G回線でインターネットに接続する

接続方式は2通りあります。

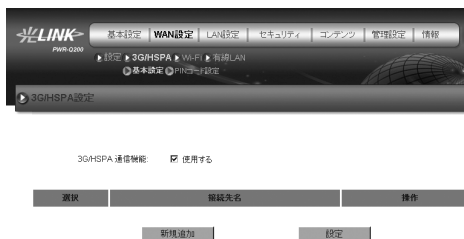
● PWR-Q200とパソコンなどを無線接続



● 標準クレードルを使用し、PWR-Q200とパソコンなどを有線接続



- 7 [WAN 設定] - [3G/HSPA] の順で選択すると、[新規追加] と [設定] が表示されます。[新規追加] をクリックします。



ここではWAN側の接続に3G/HSPAを使用します。「3G/HSPA 通信機能」の「使用する」にチェックを入れてください。

2 各項目を入力し、「設定」をクリックします。

挿入されたSIMカードにより、自動で通信事業者が選択され、対応する接続方法に設定されます。SIMカードが挿入されていない場合は、「その他携帯事業者」が選択されます。

通信事業者が自動選択されなかった場合は、「キャリア選択」で選択してください。

挿入するSIMカードの通信事業者が選択リストの中にない場合は、「キャリア選択」の「その他接続方式」を選択して、APN関連の設定をお客様自身で入力してください。

※「接続方式」は自動選択されません。接続先情報はご契約の通信キャリアまたはプロバイダからの内容にしたがって設定を行ってください。

光LINK PWR-Q200

基本設定 | **WAN設定** | LAN設定 | セキュリティ | エンジン | 管理設定 | 情報

▶ 設定 ▶ 3G/HSPA ▶ WIFI ▶ 有線LAN

● 基本設定 ● PINコード設定

▶ 3G/HSPA - プロファイル新規作成

接続先名: 3G_Profile

キャリア選択: [その他携帯事業者 ▼]

接続方式: [設定1 ▼]

PDP Type: [IP ▼]

APN(接続先): []

MTU 値: 1500

ユーザ名: []

パスワード: [] ☐ パスワードも表示する

スクジュール: ☐ 使用する※ 時間帯により料金の変わるAPN(接続先)をご利用の場合は、本機能の使用も強く推奨します。

接続可能時間(スクジュール): 20 : 00 ~ 02 : 00

▶ ネームサーバ

サーバから割り当てられたアドレス: ☒ 使用する

プライマリDNS: []

セカンダリDNS: []

▶ 認証時の暗号化

暗号化方法:

- ☒ 自動選択
- ☐ 暗号化されていないパスワード(WPA)
- ☐ チャレンジハンドシェイク認証プロトコル(CHAP)

設定



メモ

その他通信事業者の設定に関する手順

- ▶ キャリア選択：[その他 接続方式] を選択します。
- ▶ APN（接続先）、ユーザ名、パスワード：
携帯電話事業者から指定された値を入力します。
- ▶ PIN認証：PINコードを入力します。
- ▶ [設定] をクリックして設定値を保存します。

3

設定完了後は、[3G/HSPA設定] のページに作成した3Gプロファイルが登録されていることを確認します。



3G/HSPA 通信機能: ☒ 使用する

選択	接続先名	操作
	3G_Profile	編集 削除

[新規追加](#)

[設定](#)

4

接続に成功すると、本体の液晶ディスプレイには、3G信号強度が表示されます。



困ったときは

5

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。

該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

- 5-1 本商品がパソコンに検出されない…………… 5-2
- 5-2 有線LANで本商品に接続できない…………… 5-3
- 5-3 無線LANで本商品に接続できない…………… 5-4
- 5-4 Web設定画面を開けない…………… 5-5
- 5-5 インターネットに接続できない…………… 5-7
- 5-6 その他で困ったときは…………… 5-9

5-1 本商品がパソコンに検出されない

症 状	原因と対策
本商品がパソコンに検出されない	● 無線接続の設定を確認してください。 ● 本商品の工場出荷時の設定は次のとおりです。 ・ 無線ネットワーク名 (SSID) : 出荷時設定情報ラベルに印刷されています。 ・ 暗号化方式 : WPA2-PSK (AES) ・ 暗号化キー : 出荷時設定情報ラベルに印刷されています。 ● 本商品が標準クレードルまたは PWR-Q200-OP (Wi-Fi クレードル) に取り付け済みの場合、本商品の無線機能が停止している可能性があります。本商品を標準クレードルまたは PWR-Q200-OP (Wi-Fi クレードル) から取り外して、再度ご確認ください。 ● 本商品をパソコンの近くに設置してください。 ● 本商品の電源を入れ直してください。

5-2 有線LANで本商品に接続できない

症 状	原因と対策
有線 LAN で本商品に接続できない	● 本商品の電源が ON になっていることを確認してください。 ● LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ● LAN ケーブルが本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ● パソコンが LAN ボードまたは LAN カードを認識しているかを確認してください。 ● パソコンのネットワーク接続でご利用になる LAN ポートが有効になっていることを確認してください。確認方法はパソコンの取扱説明書などを参照してください。 ● 本商品の電池残量が十分であることを確認してください。 ● パソコンのネットワーク設定で、IP アドレスの自動取得（DHCP）を設定してください。 ● 標準クレードルの切替スイッチが“LAN”に設定されているか、また LAN ケーブルに接触不良がないかを確認してください。 ● 本商品が標準クレードルへ完全に取り付けられていることを確認してください。 ● パソコンの再起動を行ってください。 ● 本商品の電源を入れ直してください。

5-3 無線LANで本商品に接続できない

症 状	原因と対策
無線 LAN で本商品に接続できない	● 本商品の電源が ON になっていることを確認してください。 ● 本商品の電池残量が十分であることを確認してください。 ● パソコンの無線 LAN インタフェースが起動状態であるか確認してください。(パソコンによっては、無線 LAN のハードスイッチが搭載されている場合があります。このスイッチが OFF になっていないか確認してください。) ● パソコンのネットワーク設定で、IP アドレスの自動取得 (DHCP) を設定してください。 ● 接続設定を行う際、無線ネットワーク名 (SSID)、暗号化キーが正しいかどうかご確認ください。(入力の際は太文字と小文字にご注意ください。) ● 本商品が標準クレードルまたは PWR-Q200-OP (Wi-Fi クレードル) に取り付け済みの場合、本商品の無線機能が停止している可能性があります。本商品を標準クレードルまたは PWR-Q200-OP (Wi-Fi クレードル) から取り外して、再度接続をご確認ください。 ● 端末側の機器が、無線 LAN のチャネル 12、13 に対応していない場合は、無線 LAN のチャネル (1 ~ 11ch) を手動で設定してください。設定方法は、リファレンスガイドを参照してください。 ● パソコンの再起動を行ってください。 ● 本商品の電源を入れ直してください。

5-4 Web設定画面を開けない

症 状	原因と対策
Web 設定画面を開けない	● 有線または無線で正しく接続されているか確認してください。 ● 正しい IP アドレスを入力しているか確認してください。 IP アドレスの初期値は、192.168.11.1 です。 パスワードを忘れてしまった場合は、リセットボタンで本商品を初期化してください。(1-15 ページ) ※ ブリッジモードを設定している場合、IP アドレスが、本商品の IP アドレス (http://192.168.11.1) と異なります。本商品に割り振られている IP アドレスを確認してください。 ● パソコンのネットワーク設定で、IP アドレスの自動取得 (DHCP) を設定してください。 ● パソコンの再起動を行ってください。 ● 本商品の電源を入れ直してください。 ● Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、本商品の Web 設定画面のページが表示されないことがあります。(3-13 ページ) ● ダイアルアップの設定がある場合は、Web ブラウザの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。
Web ブラウザで、本商品の Web 設定画面のページが正常に表示されないまたは操作が正常にできない	● お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript™」を有効に設定してください。 ● お使いの Web ブラウザが本商品に対応しているかは、リファレンスガイドの「[Web 設定画面]」の「設定画面を表示する」を参照のうえ確認してください。

症 状	原因と対策
本商品をアクセスポイント（ブリッジモード）として利用する際に、本商品の液晶ディスプレイに  が表示されていない	● 本商品の IP アドレスが取得できていません。 ※ 本商品の IP アドレスが取得できない場合、自動的に LAN 側 IP アドレスを「192.168.0.1」に設定します。 ● 本商品の WAN 側に接続されているルータなどの DHCP サーバが有効になっていることを確認してください。 ● 本商品を標準クレードルから一度取り外し、再度取り付けてください。
本商品を Wi-Fi のブリッジとして利用するとき、本商品の液晶ディスプレイに  が表示されない	● 本商品の IP アドレスが取得できていません。 ※ 本商品の IP アドレスが取得できない場合、自動的に LAN 側 IP アドレスを「192.168.0.1」に設定します。 ● 本商品の WAN 側に接続されているルータなどの DHCP サーバが有効になっていることを確認してください。 ● 本商品の側面のモード切替スイッチを一度「3G」にしたあと、「Wi-Fi」または「Auto」に戻してください。
本商品を Wi-Fi クレードルに取り付けたとき、本商品の液晶ディスプレイに  が表示されない	● 本商品の IP アドレスが取得できていません。 ※ 本商品の IP アドレスが取得できない場合、自動的に LAN 側 IP アドレスを「192.168.0.1」に設定します。 ● Wi-Fi クレードルもしくは本商品の WAN 側に接続されているルータなどの DHCP サーバが有効になっていることを確認してください。 ● 本商品を Wi-Fi クレードルから一度取り外し、再度取り付けてください。

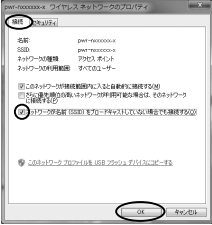
5-5 インターネットに接続できない

症 状	原因と対策
インターネットに接続できない	● Web 設定画面 (3-13 ページ) を開けるか確認し、できない場合は「Web 設定画面を開けない」(5-5 ページ) を確認してください。 ● PPPoE の設定 (プロバイダ情報) が正しく入力されているか確認してください。 ● 本商品の電源を入れ直してください。 ● 本商品を初期化してください。初めから設定し直します。 ● ダイアルアップの設定がある場合は、Web ブラウザの [インターネットオプション] の [接続] で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。 【有線で接続する場合】 ● 標準クレードルのスイッチを “INTERNET” に切り替えてください。 ● ご利用のパソコンが「IP アドレスを自動的に取得」に設定されていることを確認してください。 ● 本商品の WAN 設定 (有線 LAN) の設定を確認してください。 ● 本商品の液晶ディスプレイに  が表示されていない場合 WAN 側 IP アドレスが取得できていません。(4-2 ページ) を確認してください。 【無線で接続する場合】 ● 標準クレードルを使用する場合は、標準クレードルのスイッチを “LAN” に切り替えてください。 ● 本商品のモード切替スイッチが “AUTO” もしくは “Wi-Fi” になっていることを確認してください。

症 状	原因と対策
本商品をアクセスポイント（ブリッジモード）として利用する際に、本商品の液晶ディスプレイに  が表示されていない	● 本商品の IP アドレスが取得できていません。 ※ 本商品の IP アドレスが取得できない場合、自動的に LAN 側 IP アドレスを「192.168.0.1」に設定します。 ● 本商品の WAN 側に接続されているルータなどの DHCP サーバが有効になっていることを確認してください。 ● 本商品を標準クレードルから一度取り外し、再度取り付けてください。
本商品を Wi-Fi のブリッジとして利用するとき、本商品の液晶ディスプレイに  が表示されない	● 本商品の IP アドレスが取得できていません。 ※ 本商品の IP アドレスが取得できない場合、自動的に LAN 側 IP アドレスを「192.168.0.1」に設定します。 ● 本商品の WAN 側に接続されているルータなどの DHCP サーバが有効になっていることを確認してください。 ● 本商品の側面のモード切替スイッチを一度「3G」にしたあと、「Wi-Fi」または「Auto」に戻してください。
本商品を標準クレードルに取り付けて、アクセスポイント（ブリッジモード）として動作しているとき、本商品に接続できない	● 動作モードがアクセスポイント（ブリッジモード）に切り替わりますと、ネットワークの構成が変わりますので、本商品に接続している端末が一度切断されます。一部の PC やゲーム機において、切断処理が行われない端末があります。本商品に接続できない場合は、端末側の無線 LAN を一度切断し、再接続を行ってください。
WAN 側 無線 LAN がブリッジとして動作しているとき、本商品に接続できない	● 動作モードがアクセスポイント（ブリッジモード）に切り替わりますと、ネットワークの構成が変わりますので、本商品に接続している端末が一度切断されます。一部の PC やゲーム機において、切断処理が行われない端末があります。本商品に接続できない場合は、端末側の無線 LAN を一度切断し、再接続を行ってください。

5-6 その他で困ったときは

症 状	原因と対策
無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを忘れた	● 背面カバーを開け、本商品の電源が入っている状態で「リセット」ボタンを 3 秒押し続けると、パスワード、無線ネットワーク名 (SSID)、暗号化キーの設定が初期化され、工場出荷時の設定に戻ります。 以下は本商品の出荷時の初期設定です。 無線ネットワーク名 (SSID1) : 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。 無線の暗号化 : WPA2-PSK (AES) 暗号化キー (KEY1) : 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。 無線ネットワーク名 (SSID2) : 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。 無線の暗号化 : WEP (128bit) 暗号化キー (KEY2) : 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。

症 状	原因と対策
無線ネットワーク名 (SSID) 隠蔽を使用する設定を行ったあと、無線接続ができなくなった	●「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽」の機能を「隠蔽を使用する」に設定し、パソコンを再起動すると、無線接続できなくなる場合があります。その場合は、以下の手順で設定を行ってください。(例: Windows® 7 の場合)  ① タスクトレイにあるワイヤレスネットワークのアイコン  をクリックします。 ② 本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を右クリックし、[プロパティ] を選択します。  ③ [接続] タブを選択します。 ④ 「ネットワークが名前 (SSID) をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。

症 状	原因と対策
液晶ディスプレイに異常と表示された	● 6-4 ページの「液晶ディスプレイの表示説明」を参照し内容を確認してください。本商品の電源を入れ直していただき、それでも症状が改善されない場合は、裏表紙に記載の「故障の時は」までご連絡ください。
本商品が正常に動作しない	● ごく稀ではありますが、本商品が正常に動作しない場合があります。その際は、本体の電源を一度 OFF にしてから再度電源を ON にし直すか、標準クレードルまたは PWR-Q200-OP (Wi-Fi クレードル) でご使用時には本体をいったん標準クレードルまたは PWR-Q200-OP (Wi-Fi クレードル) から完全に取り外したあとに、再度、確実に標準クレードルまたは PWR-Q200-OP (Wi-Fi クレードル) に取り付けてください。 ● 本体の背面カバーを取り外し、本体から、電池パックを一度取り外し、再度電池パックを取り付けてください。(2-5 ページ)
Windows® 7 で WPS が行えない	● お使いの環境によっては、本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択したあと、「ルーターのボタンを押すことによって接続できます。」が表示されず、WPS ができないことがあります。 その場合は、一度画面を閉じたあと、再度やり直すか、あるいは、出荷時設定情報ラベルに印刷された無線ネットワーク名 (SSID) および暗号化キーを参照し、手動接続を行ってください。
PIN コードが不明	● PIN コードは SIM カードの不正利用を防止するための 4 ～ 8 桁の番号 (コード) です。PIN コードの入力エラーが 3 回連続した場合、PIN コードはロックされます。この場合は、PUK コードでロックを解除する必要があります。 PIN コードについては、3G ご契約の通信事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

症 状	原因と対策
PUK コードが不明	● PUK コードはロックされた PIN コードを解除するために使用するものです。PUK コードについては、3G で契約の通信事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。
バージョンアップできない	● 本商品または、本商品の WAN 側に接続されているルータなどがインターネットに接続しているか確認してください。 ● 3G 回線もしくは、フレッツ・スポットを除く公衆無線 LAN サービスとの接続では、ファームウェアのアップデートを行えません。 ● 本商品に電源が供給された状態、もしくは電池残量が 50%以上の状態でファームアップが開始されます。
時刻修正できない	● 本商品または、本商品の WAN 側に接続されているルータなどがインターネットに接続しているか確認してください。
すでに設置済みのルータなど他のルータと接続している場合に、一部の通信 (UPnP など) を使用した通信が正常に行えない	● 本商品の設定をブリッジモードに変更してください。

付録

6

6-1	仕様一覧	6-2
6-2	液晶ディスプレイの表示説明	6-4
6-3	リファレンスガイドについて	6-7

6-1 仕様一覧

● PWR-Q200

無線 LAN インターフェース(LAN側)	
準拠規格	IEEE802.11b/IEEE802.11g/IEEE802.11nテクノロジー
周波数範囲	2412 ~ 2472MHz 1 ~ 13ch
伝送速度	IEEE802.11n : up to 150Mbps, at 40MHz IEEE802.11g : 6/9/12/18/24/36/48/54Mbps IEEE802.11b : 1/2/5.5/11Mbps

無線 LAN インターフェース(Internet側)	
準拠規格	IEEE802.11a / IEEE802.11b / IEEE802.11g / IEEE802.11nテクノロジー
周波数範囲	IEEE802.11a / n W52 36/40/44/48ch (5180 ~ 5240MHz) W53 52/56/60/64ch (5260 ~ 5320MHz) IEEE802.11b/g/n 1 ~ 13ch (2412 ~ 2472MHz)
伝送速度	IEEE802.11n : up to 150Mbps, at 40MHz IEEE802.11a/g : 6/9/12/18/24/36/48/54Mbps IEEE802.11b : 1/2/5.5/11Mbps

3G インターフェース	
準拠規格	3GPP W-CDMA Release 99 HSUPA release 6 HSDPA release 5
周波数範囲	Band I 2100MHz UP : 1920 ~ 1980MHz Down : 2110 ~ 2170MHz Band VI 800MHz UP : 830 ~ 840MHz Down : 875 ~ 885MHz Band IX 1700MHz UP : 1749.9 ~ 1784.9MHz Down : 1844.9 ~ 1879.9MHz
伝送速度	HSDPA 7.2Mbps HSUPA 5.76Mbps W-CDMA 384kbps

その他	
対応 SIM カード	USIM カード (W-CDMA)
その他本体外部インターフェース	mini USB (USB1.1/2.0 対応) × 1 microSDカードスロット (SDHC 対応、最大 32GB) × 1
使用電源	AC100V±10V (50/60Hz)
消費電力	最大通信時：約3.7W／一般通信時：約1.7W／スタンバイ時：約0.35W／休止状態時：約0.1W
連続通信時間	一般通信時 6時間 スタンバイ時 30時間 休止状態時 約150時間 ※ 動作時間は使用環境により異なります。
動作環境	温度： 0 ～ 35 ℃ 湿度： 10 ～ 80% (結露なきこと)
外形寸法	約 100.0 (W) × 約 67.5 (H) × 約 17.4 (D) mm
重量	約 110g (電池パック装着時)

標準クレードル	
準拠規格	IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3 (10BASE-T) ※1
伝送速度	10/100Mbps (自動認識)
外形寸法	約 64.0 (W) × 約 25.5 (H) × 約 48.95 (D) mm
重量	約 36 g

電池パック	
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.7V
公称容量	1880mAh
保証充電回数	約500回

※1 本商品を快適にご利用いただくには、100BASE-TX、100Mbps方式での接続を推奨します。

6-2 液晶ディスプレイの表示説明

項目	文言	説明
温度異常	内部温度エラー 取扱説明書をご覧ください	内部温度が一定値以上高くなっています。本商品の電源を切り、風通しの良い場所に置いて十分に放熱させてから、使用してください。
電源異常	電源HWエラー 取扱説明書をご覧ください	電源（充電関連含む）ハードウェアの異常※
有線LAN異常	有線LAN HWエラー 取扱説明書をご覧ください	有線LANハードウェアの異常※
WAN側無線LAN異常	WAN側無線LANエラー 取扱説明書をご覧ください	WAN側無線LANハードウェアの異常※
LAN側無線LAN異常	LAN側無線LAN HWエラー 取扱説明書をご覧ください	LAN側無線LANハードウェアの異常※
3G異常	3G HWエラー 取扱説明書をご覧ください	3Gハードウェアの異常※
USIM異常	SIM エラー 取扱説明書をご覧ください	SIM関連の異常※
ファームウェア更新失敗	FW更新に失敗しました	ファームウェアの更新に失敗した際に表示。
IPアドレス設定異常	IPアドレス異常	WAN側とLAN側のIPアドレスが同じで通信できない場合に表示。
ファームウェアダウンロード失敗	FWダウンロードに失敗しました	ファームウェアのダウンロードに失敗した際に表示。
その他エラー	その他エラー 取扱説明書をご覧ください	その他のエラー※

※本商品の電源を入れ直していただき、それでも症状が改善されない場合は、当社のサービス取扱所までご連絡ください。

項目	文言	説明
無線LAN 簡単セット アップ エラー	簡単設定 設定失敗しました	対象の機器をらくらく無線 スタート設定、WPS設定 にて検出できない場合に表 示。
	WPS 設定失敗しました	対象の機器をWPS設定にて 検出できない場合に表示。
	らくらく 設定失敗しました	対象の機器をらくらく無線 スタート設定にて検出でき ない場合に表示。
無線LAN 簡単セット アップ	簡単設定 設定を開始します	無線LAN簡単セットアップ を実行時に表示。
	らくらく SETボタンを 長押ししてください	らくらく無線スタート設定 にて対象の機器が検索対象 になったときに表示。
	らくらく設定しています…	対象の機器へらくらく設定 を実行時に表示。
	らくらく 設定完了しました	対象の機器のらくらく無線 スタート設定が完了時に表 示。
	WPS 設定を開始します	WPS方式で設定の場合に、 対象の機器検索時に表示。
	WPS 設定しています…	対象の機器へWPS設定を実 行時に表示。
	WPS 設定完了しました	対象の機器のWPS設定が完 了時に表示。
	WPS PINコードを入力 してください	PIN方式で設定の場合に、 PINコード入力待ち時に表 示。
ファームアッ プ実行中	FW更新 再起動してください	ファームウェア更新後の再起 動の待機状態に表示。
	FW更新 更新完了しました	ファームウェア更新後の再起 動の完了後に表示。
	FW更新 ダウンロード中…	ファームウェアダウンロード 中に表示。
	FW更新 更新しています…	ファームウェアダウンロード 完了後、ファームウェア更新 中に表示。

項目	文言	説明
ファームウェア更新通知	FW更新 フレッツ回線に接続してください	ファームウェア更新を検知し、ダウンロード条件によりダウンロード実施できない場合に表示。 WAN側有線および無線による接続無し
	FW更新 クレードルに接続し充電してください	ファームウェア更新を検知し、ダウンロード条件によりダウンロード実施できない場合に表示。 電池残量50%未満
USBポート接続状態	USB接続中	本体とパソコンなどをUSBにより接続している場合に表示。
3G スケジュール 設定状態	3G規制中スケジュール機能	3Gスケジュール機能により接続規制中の場合に表示。他の表示と重複した場合は、切り替えて表示。
	3G規制中時刻取得エラー	3Gスケジュール機能設定中に時刻取得を失敗した時に表示。
自己IPアドレス表示	(例) 192.168.1.7 255.255.255.0	自己IPアドレスを表示。
回線接続先表示	(例) opcl-qxxxxxx_1	無線LAN接続時に無線ネットワーク名（SSID）を表示。 24文字を超える場合は、先頭24文字のみ表示。
	(例) xxxx.xxxx.ne.jp	3G接続時に接続先を表示。 24文字を超える場合は、先頭24文字のみ表示。
	FLET'S SPOT	無線LAN接続時にフレッツ・スポット利用の場合に表示。
	FLET'S WIFI	無線LAN接続時にフレッツ光WiFiアクセス利用の場合に表示。
	HOTSPOT	無線LAN接続時にホット・スポット利用の場合に表示。
起動時	Now Loading...	起動直後に表示。

6-3 リファレンスガイドについて

本商品の詳細は

http://web116.jp/shop/hikari_p/q200/q200_00.html

の「サポート」に掲載されているリファレンスガイドを参照ください。



お知らせ

リファレンスガイドには各種設定や接続方法などの詳細について記載しています。

本商品のお取扱方法等に関する相談は

- NTT東日本エリア(北海道,東北,関東,甲信越地方)の方
NTT東日本 通信機器お取扱相談センタ



0120-970413

受付時間／9:00～17:00(年末年始12月29日～1月3日は除く)

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用の場合



03-5667-7100

(通話料がかかります)

故障の時は



0120-000113

(24時間受付 年中無休※)

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。